

湖南省の景観まちづくりに関する  
市民アンケート

# 結果報告書

湖南省

# 1.調査の概要

---

## (1) 調査の目的

湖南省における景観まちづくりの基本的な方針や今後の施策検討の基礎資料とするため、景観に対する市民の意向を把握することを目的に実施しました。

## (2) 調査対象及び調査方法

16歳以上の市民1,000人を無作為に抽出し、郵送によるアンケート調査票の配布、回収によって調査を実施しました。

## (3) 調査期間

平成24年10月19日(金)～平成24年11月2日(金)

## (4) 回収数・回収率

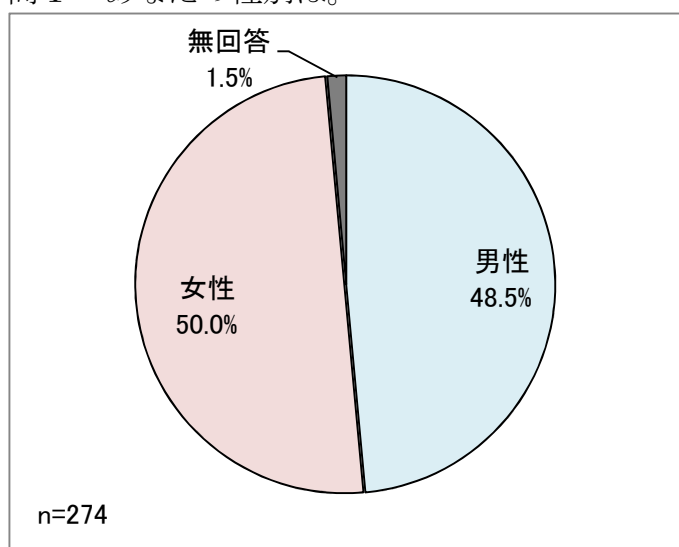
有効配布数：994件(宛所不明6件)、回収数：274件、回収率：27.6%

# 2.調査結果

---

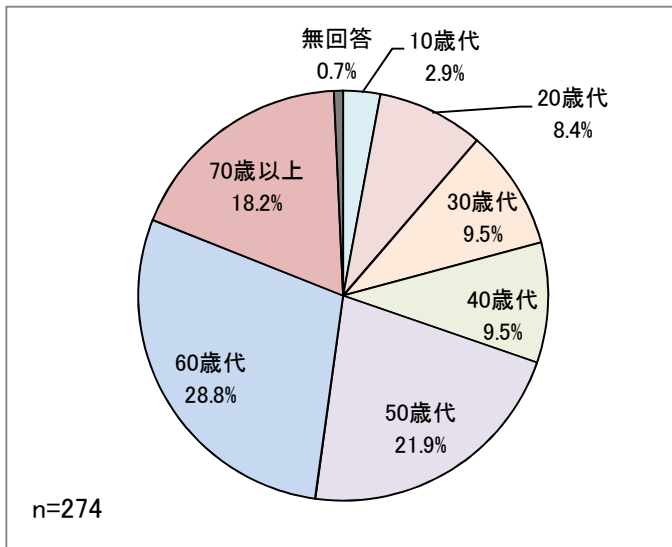
【はじめに】 あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの性別は。



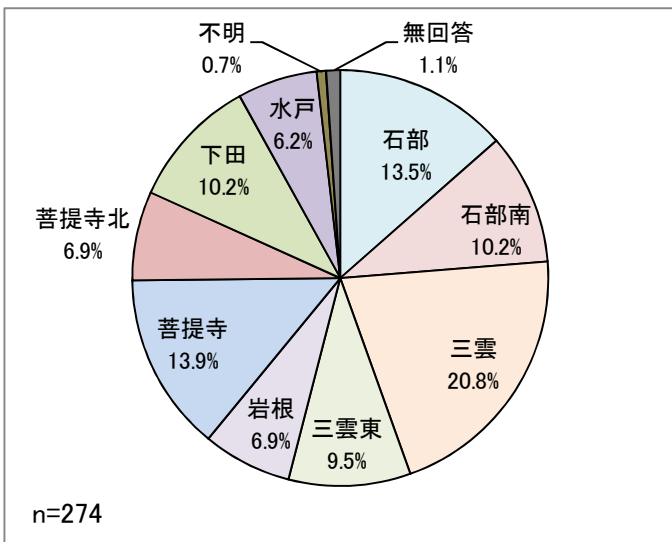
・回答者の性別を見ると、男性は265人の48.5%(133人)、女性は265人の50.0%(137人)を占めており、回答者の性別に偏りがないことがわかります。

問2 あなたの年齢は。



- 回答者の年齢を見ると、最も多いのは、回答者の28.8%を占める60歳代で79人となっています。
- 次に21.9%（60人）の50歳代、3番目は18.2%（50人）の70歳以上となっています。
- 50歳以上で全体の約7割を占めています。

問3 あなたのお住まいは。

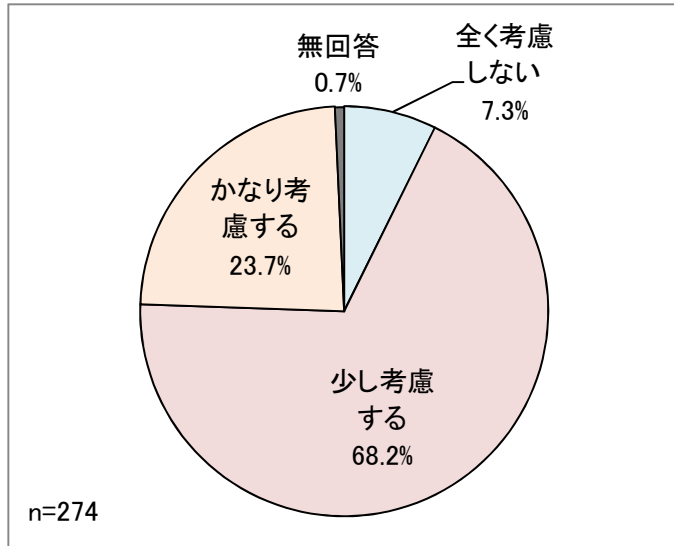


- 回答者の居住地を見ると、最も多いのは、回答者の20.8%を占める三雲学区で57人となっています。
- 次に、13.9%（38人）の菩提寺学区、3番目は13.5%（37人）の石部南学区と下田学区が同数となっています。

## 景観に対する感じ方、考え方について

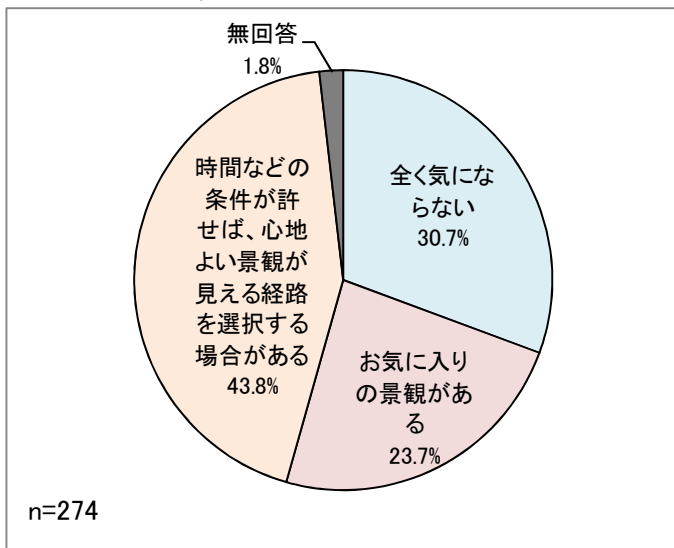
### ●日常生活に対して景観が与える影響について

問4 住まいの場所を決める際に景観を考慮に入れたことがありますか。または、これから住まいの場所を決める際に景観を考慮に入れようと思いませんか。



- ・最も多かったのは、68.2%を占める「少し考慮する」で187人となっています。
- ・次いで、「かなり考慮する」が23.7% (65人)、「全く考慮しない」は7.3% (20人)となっています。

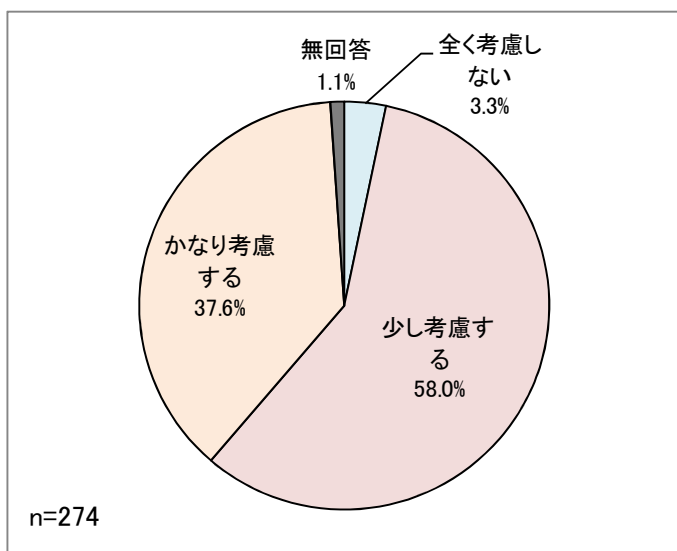
問5 通勤・通学や買い物などの日常的な移動の際に、景観が気になることがありますか。



- ・最も多かったのは、43.8%を占める「時間などの条件が許せば、心地よい景観が見える経路を選択する場合があります」で120人となっています。
- ・次いで、「全く気にならない」が30.97 (84人)、「お気に入りの景観がある」は23.7% (65人)となっています。

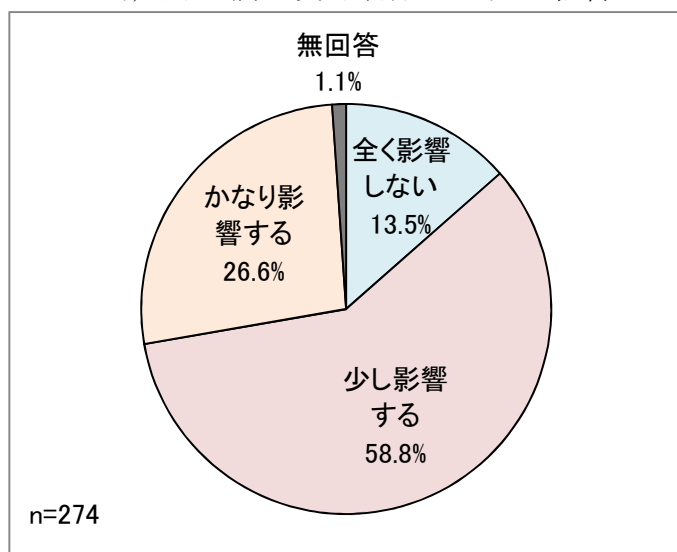
●経済活動・消費活動に対して景観が与える影響について

問6 旅行先を決める際、景観的魅力を考慮に入れますか。



- ・最も多かったのは58.0%を占める「少し考慮する」で159人となっています。
- ・次いで、「かなり考慮する」が37.6%（103）人、「全く考慮しない」は3.3%（9人）となっています。

問7 買い物や外食をする際、店舗や看板のデザイン、緑化、美観など店舗の景観的魅力が満足度や店舗の選択に影響しますか。

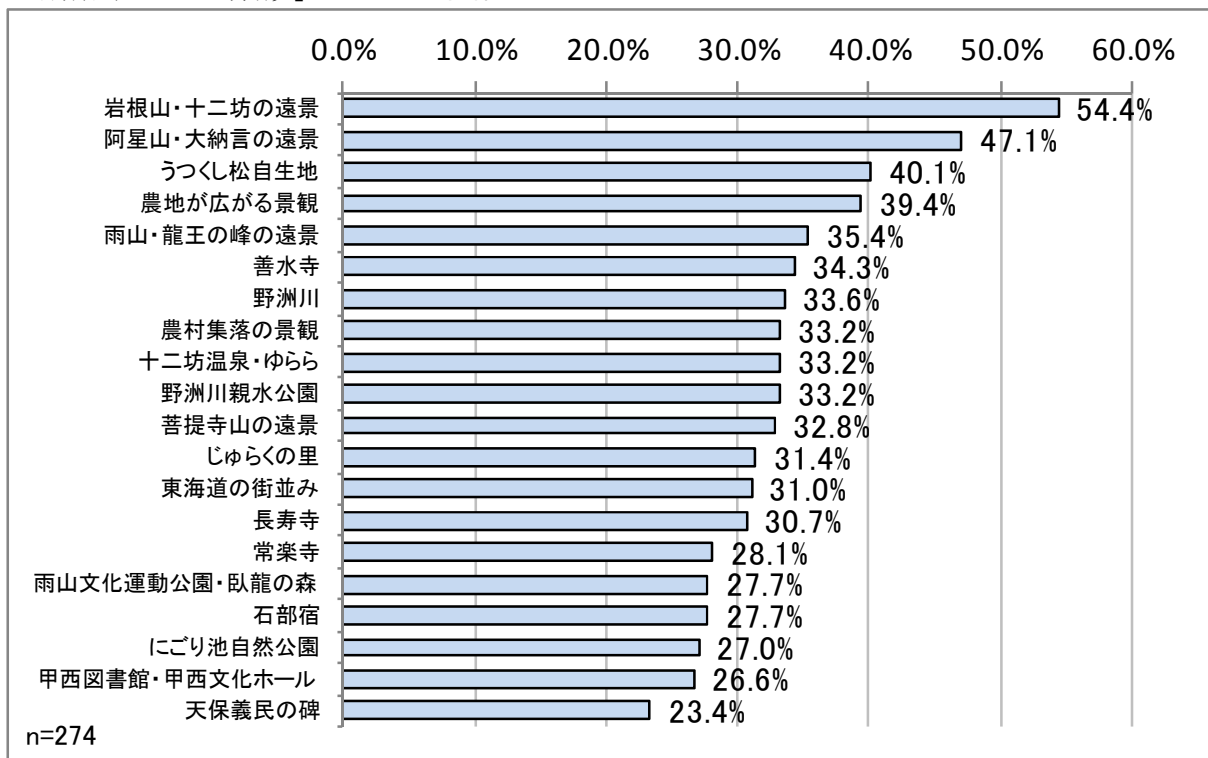


- ・最も多かったのは、58.8%を占める「少し影響する」で161人となっています。
- ・次いで、「かなり影響する」が26.6%（73人）、「全く影響しない」が13.5%（37人）となっています。

## 湖南省の景観への評価、必要なルールについて

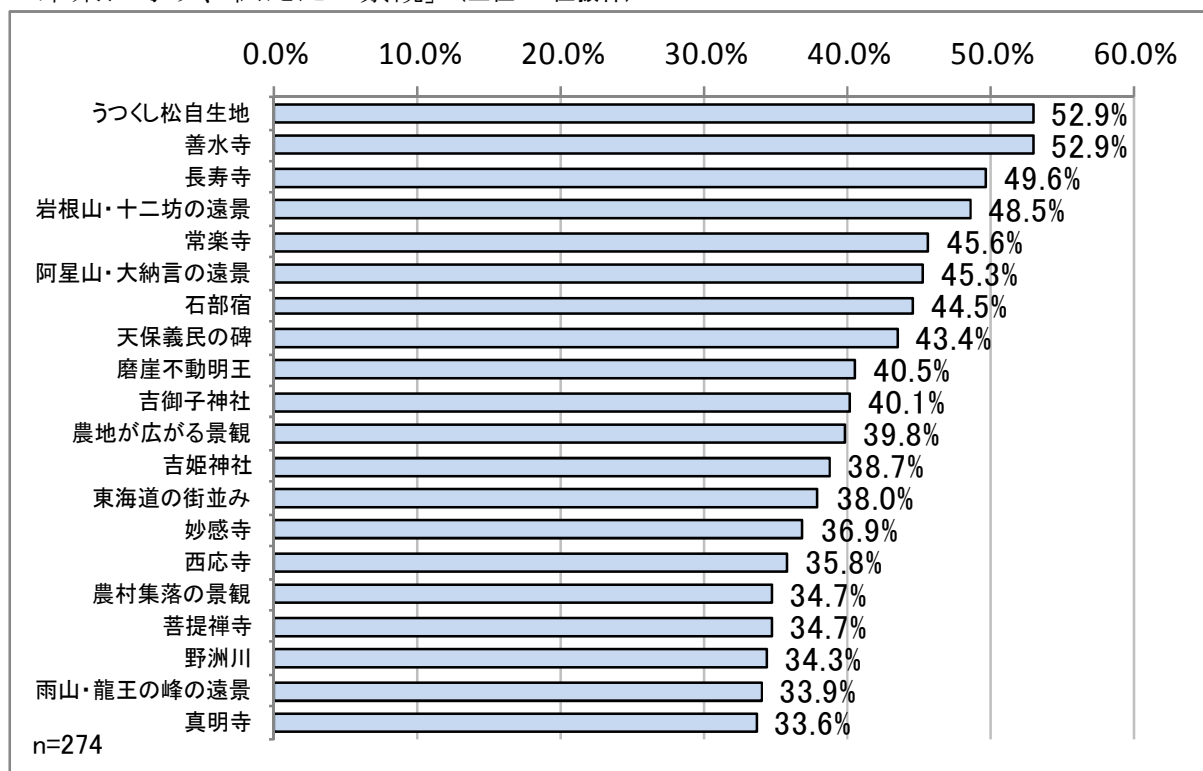
問8 「湖南省らしい景観」、「未来に守り、伝えたい景観」、「新たに創り出したい景観」、「これから改善したい景観」はどこですか。それぞれについて全て選択してください。

「湖南省らしい景観」（上位 20 位抜粋）



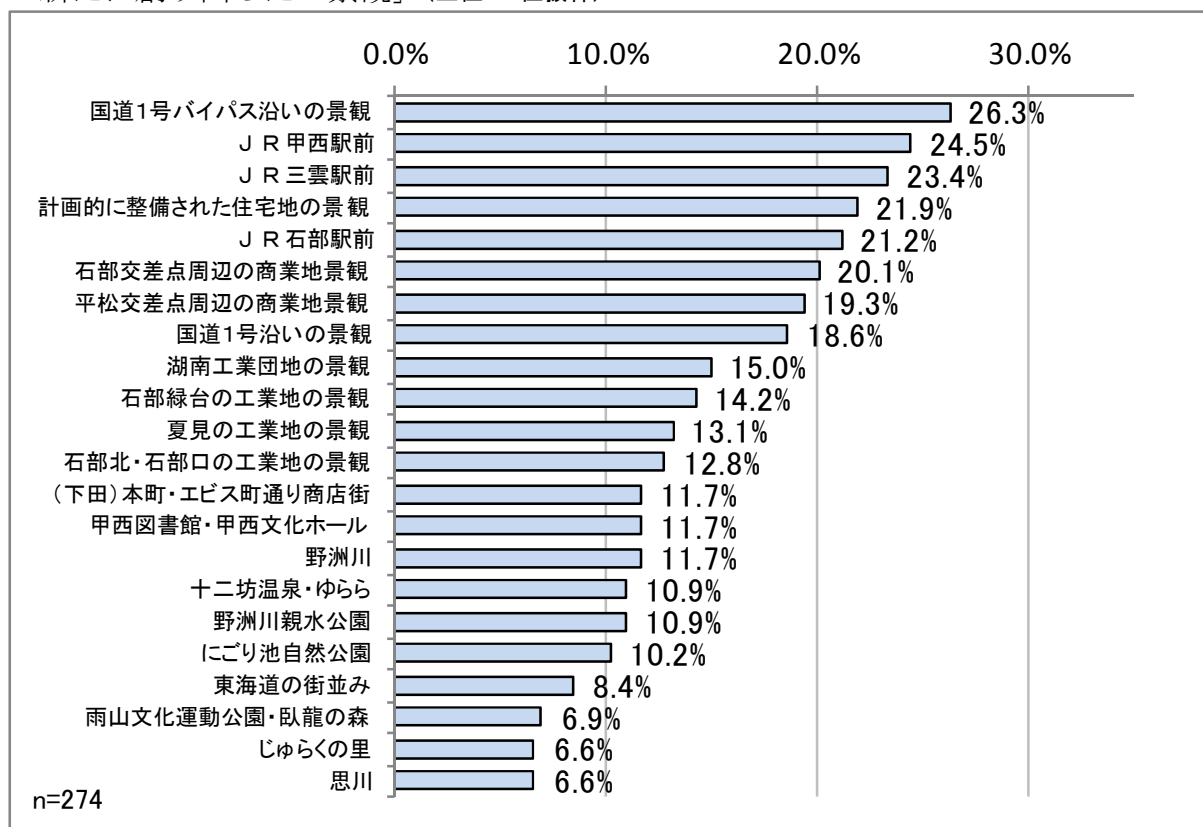
- ・最も多かったのは、回答者の 54.4%（149 人）が選択した「岩根山・十二坊の遠景」となっています。
- ・次いで、47.1%（129 人）の「阿星山・大納言の遠景」、3 番目は、40.1%（110 人）の「うつくし松自生地」となっています。
- ・上位には、自然の風景や天然記念物が並ぶ結果となっています。

「未来に守り、伝えたい景観」(上位 20 位抜粋)



- ・最も多かったのは、回答者の 52.9% (145 人) が選択した「うつくし松自生地」及び「善水寺」となっています。
- ・3 番目は、49.6% (136 人) の「長寿寺」となっています。
- ・湖南三山をはじめとした歴史的な景観資源が、比較的上位に多く含まれています。

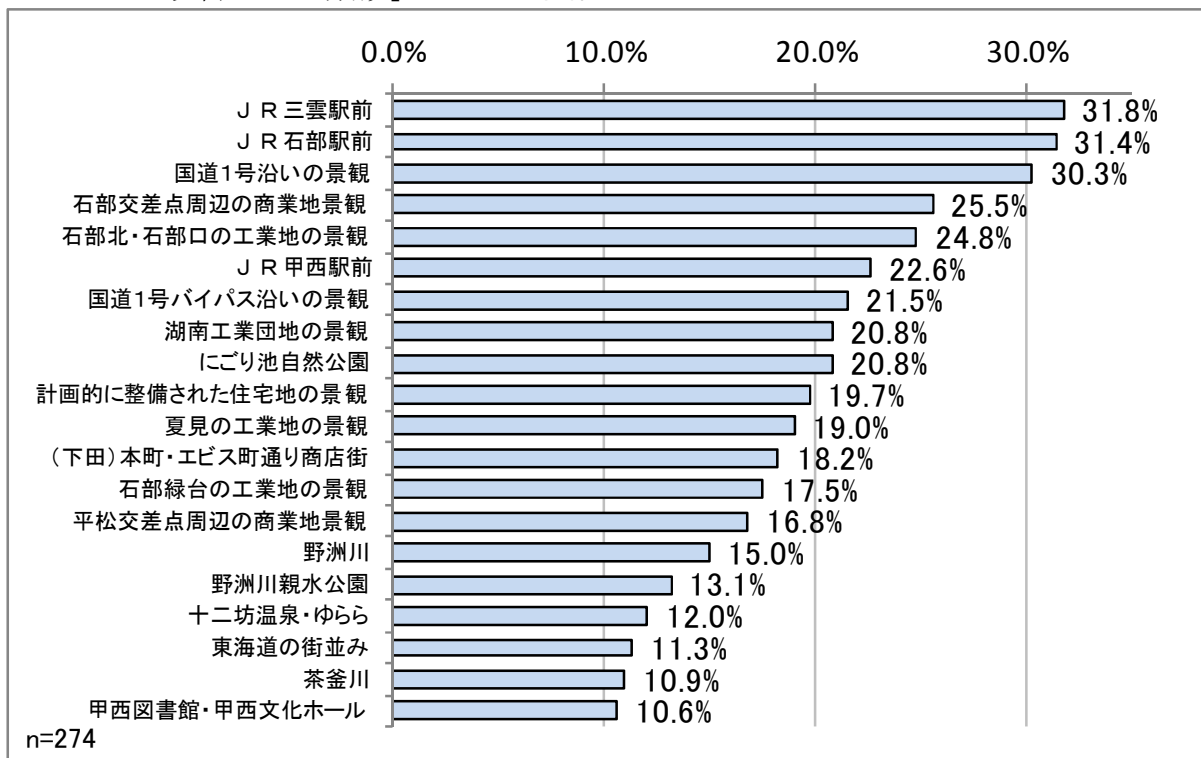
「新たに創り出したい景観」（上位 20 位抜粋）



- ・最も多かったのは、回答者の 26.3%（72 人）が選択した「国道1号バイパス沿いの景観」となっています。
- ・次いで、24.5%（67 人）の「J R 甲西駅前」、3 番目は 23.4%（64 人）の「J R 三雲駅前」となっています。
- ・駅前、商業地、工業地など市街地の景観が比較的上位に並ぶ結果となっています。



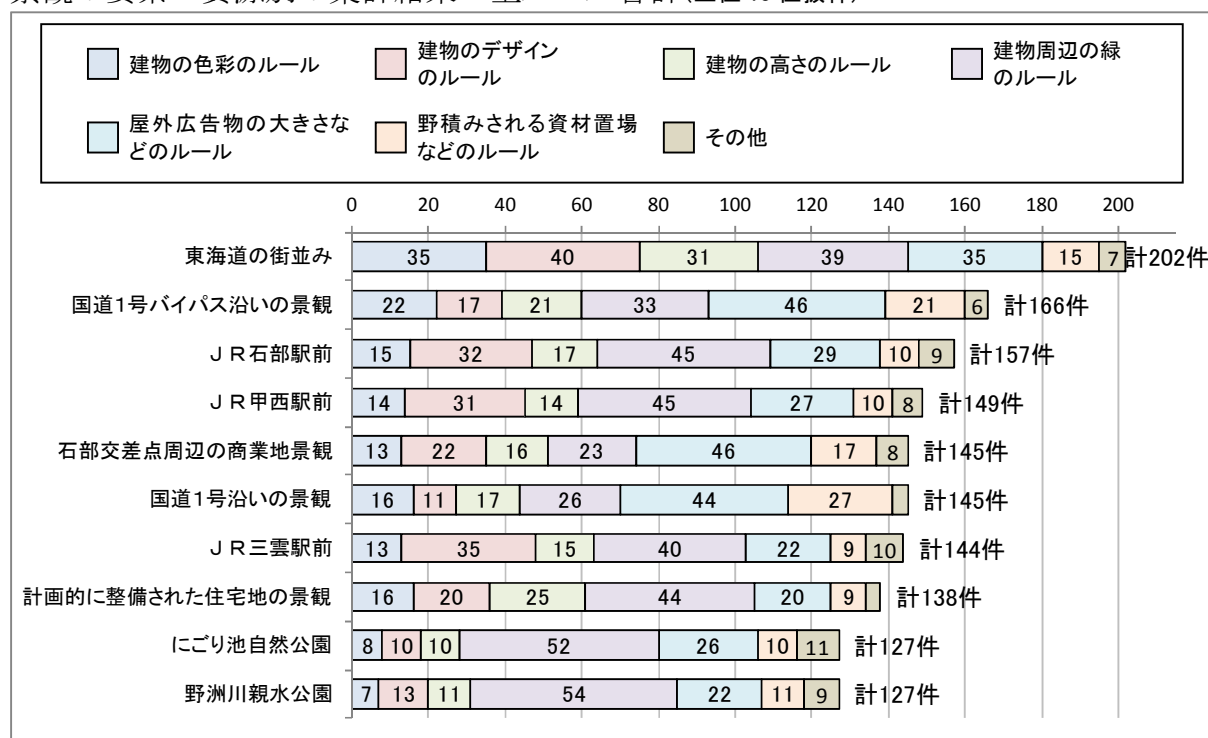
「これから改善したい景観」(上位 20 位抜粋)



- ・最も多かったのは、回答者の 31.8% (87 人) が選択した「J R 三雲駅前」となっています。
- ・次いで、31.4% (86 人) の「J R 石部駅前」、3 番目は、30.3% (83 人) の「国道 1 号沿いの景観」となっています。
- ・駅前、商業地、工業地などの市街地の景観が上位に並ぶ結果となりました。

良好な景観を形成するために、どのようなルールが必要とお考えですか。

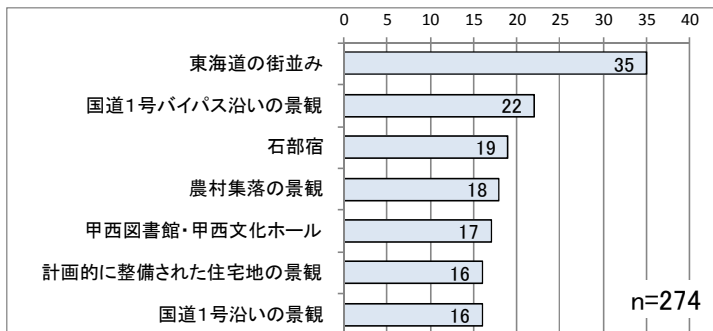
景観の要素・資源別の集計結果－全ルール合計(上位10位抜粋)



- ・ 必要なルールの合計数が最も多かったのは、「東海道の街並み」で 202 件となっています。その内訳を見ると、「建物のデザインのルール」が 40 件と最も多く、次いで「建物周辺の緑のルール」が 39 件、3 番目は「建物の色彩のルール」及び「屋外広告物の大きさなどのルール」が 35 件です。「東海道の街並み」については、「建物の高さのルール」を含め 30 件以上が 5 つあり、様々なルールが必要であると認識されています。
- ・ 2 番目に合計数が多かったのは、「国道 1 号バイパス沿いの景観」で 166 件となっています。その内訳を見ると、「屋外広告物の大きさなどのルール」が 46 件で最も多くなっています。次いで、「建物周辺の緑のルール」(33 件)で、これは沿道の農地などの緑の保全が必要であると認識されているものと考えられます。
- ・ 3 番目に合計数が多かったのは、「J R 石部駅前」で 157 件となっています。その内訳を見ると、「建物周辺の緑のルール」が 45 件で最も多く、次いで、「建物のデザインのルール」が 32 件です。宿場直近の駅として観光客を出迎え見送る緑豊かで、地域特性が感じられる景観づくりが求められていると考えられます。

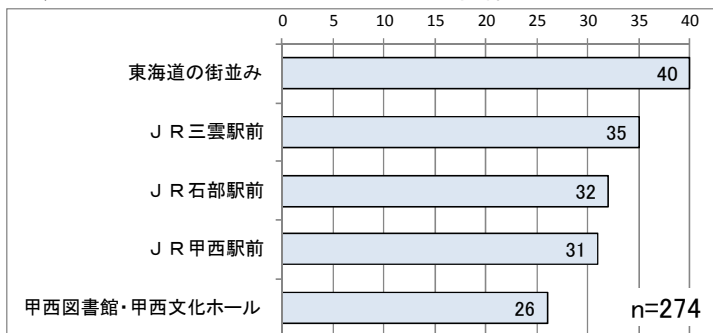
## ルール別の集計結果

### 建物の色彩のルール(上位5位抜粋)



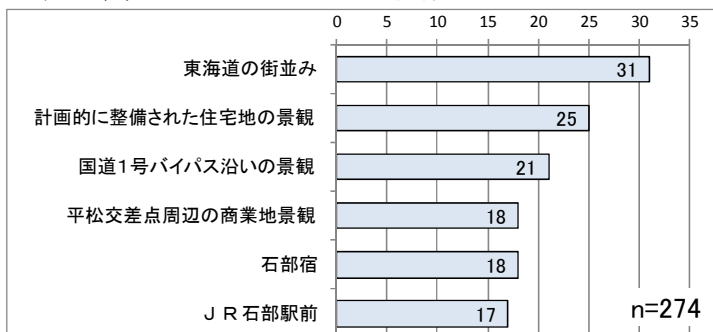
- ・「東海道の街並み」が 35 件と抜きん出て多くなっています。
- ・次いで、「国道1号バイパス沿いの景観」が 22 件です。
- ・4番目の「農村集落の景観」は、色彩のルールのみで上位に入っています。

### 建物のデザインのルール(上位5位抜粋)



- ・「東海道の街並み」が 40 件で最も多くなっています。
- ・次いで、「JR三雲駅前」が 35 件です。「JR石部駅前」、「JR甲西駅前」が続いており、駅前の景観が並ぶ結果となりました。

### 建物の高さのルール(上位5位抜粋)



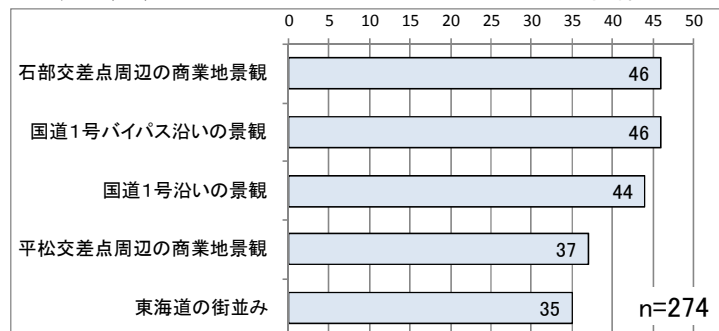
- ・「東海道の街並み」が 31 件で最も多くなっています。
- ・次いで、「計画的に整備された住宅地の景観」が 25 件、3番目は、「国道1号バイパス沿いの景観」で 21 件となっています。

### 建物周辺の緑のルール(上位5位抜粋)



- ・「野洲川親水公園」が 54 件で最も多くなっています。
- ・次いで、「にごり池自然公園」が 52 件、3番目は、「湖南工業団地の景観」が 47 件となっています。
- ・全体的に、他のルールよりも件数が多くなっており、緑を求める市民の意向が窺えます。

屋外広告物の大きさなどのルール(上位5位抜粋)



- ・「石部交差点周辺の商業地景観」及び「国道1号バイパス沿いの景観」が46件で最も多くなっています。
- ・3番目は「国道1号沿いの景観」で44件となっています。

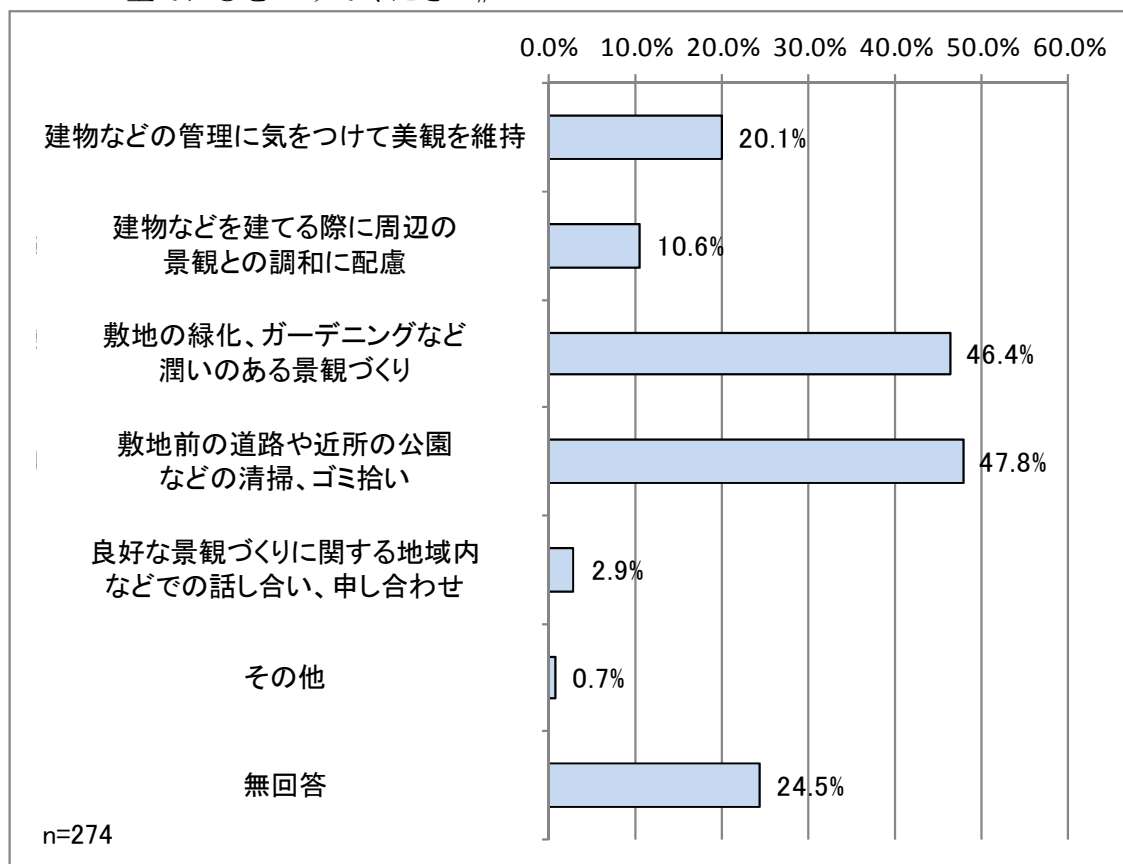
野積みされる資材置場などのルール(上位5位抜粋)



- ・「石部北・石部口の工業地の景観」が32件で最も多くなっています。
- ・次いで、「湖南工業団地の景観」、「石部緑台の工業地の景観」、「国道1号沿いの景観」で共に27件でした。

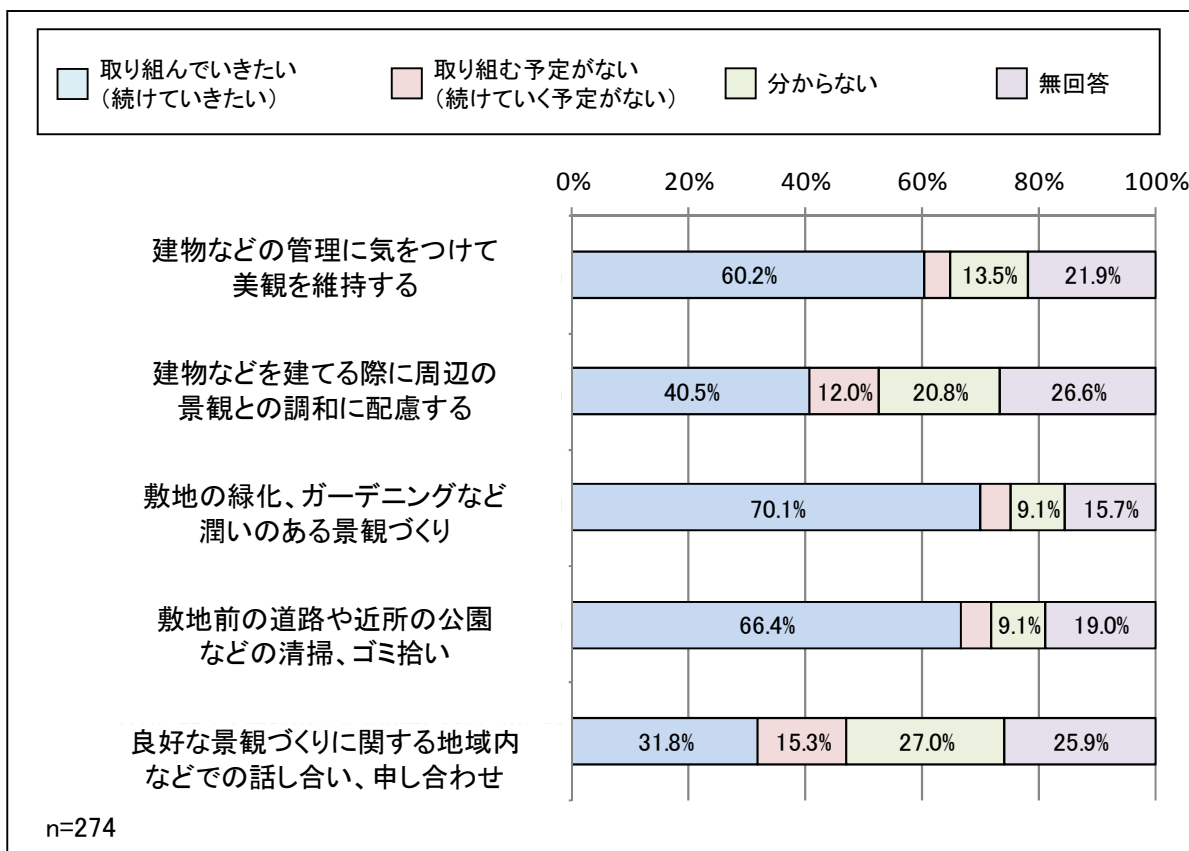
## 景観への配慮に関するご自身の取り組みについて

問9 ご自身がすでに取り組みをされている景観への配慮活動がありますか。《該当するもの全てに○をつけてください》



- ・最も多かったのは、「敷地前の道路や近所の公園などの清掃、ゴミ拾い」で回答者の47.8%（131人）が選択しています。
- ・次いで、「敷地の緑化、ガーデニングなど、潤いのある景観づくり」で46.4%（127人）が選択しています。
- ・これら2つの活動が突出しており、他の活動の取り組み状況とは差があります。

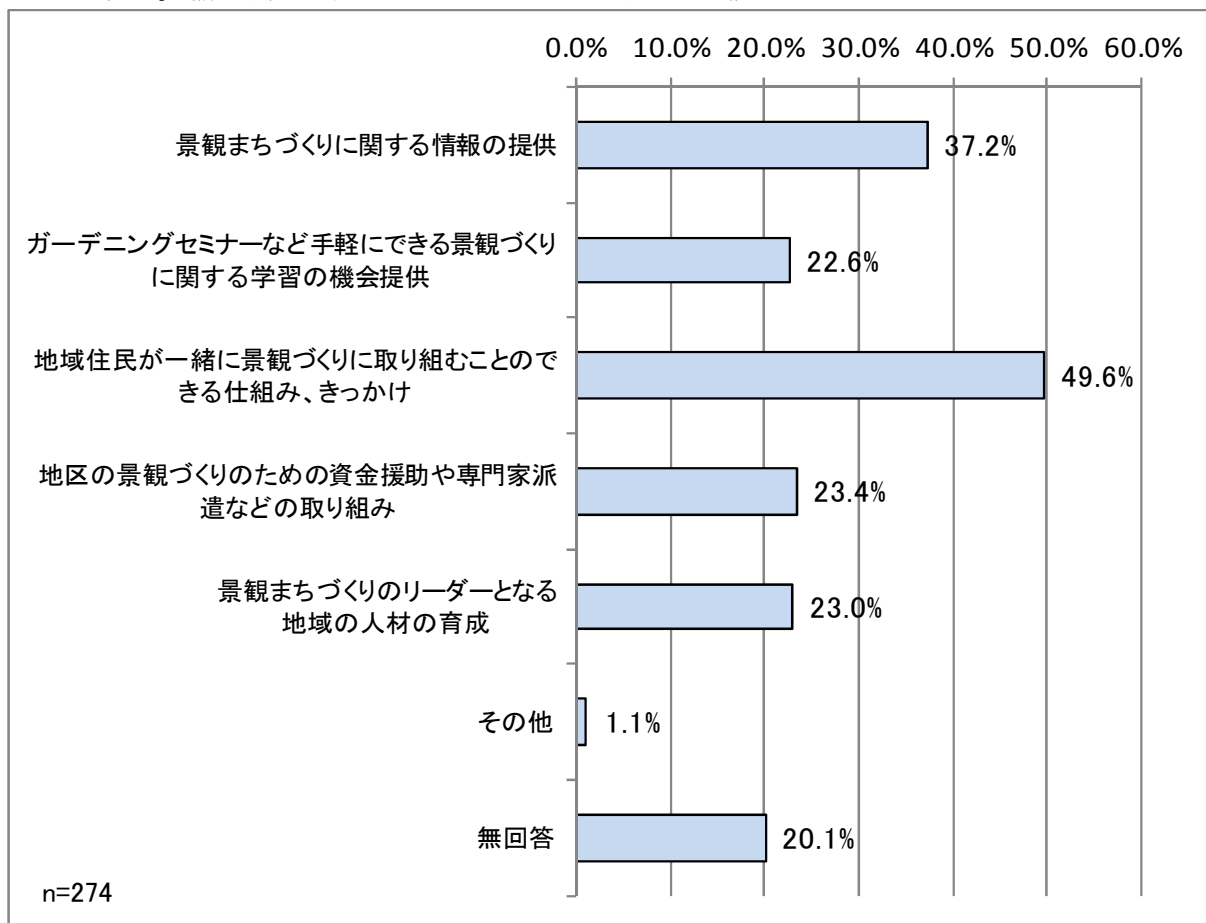
問 10 地域の景観の向上に向けて、あなたはどのような取り組みをしていきたいとお考えですか。項目ごとに、お考えに最も近い番号1つだけに○をつけてください。（既に取り組みをされている項目については、その継続の意向をお答えください。）



- ・「取り組んでいきたい（続けていきたい）」活動として最も割合が高かったのは、「敷地の緑化、ガーデニングなど潤いのある景観づくり」で回答者の70.1%（192人）が選択しています。
- ・次いで、「敷地前の道路や近所の公園などの清掃、ゴミ拾い」が66.4%（182人）、3番目は、「建物などの管理に気をつけて美観を維持する」で60.2%（165人）となっています。
- ・5つの活動の取り組み（継続）意向は、いずれも現在の取り組んでいる回答者数（問9の結果参照）を上回っており、今後の景観づくり活動に意欲的であることが窺えます。

## 住民主体の景観まちづくりの推進について

問 11 住民主体の景観まちづくりを推進するためには、どのようなことが必要だと思えますか。《該当するもの全てに○をつけてください》



- ・最も多いのは、「地域住民と一緒に景観づくりに取り組むことのできる仕組み、きっかけ」で回答者の49.6%（136人）が選択しています。
- ・次いで、「景観まちづくりに関する情報の提供」で37.2%（102人）、3番目は「地区の景観づくりのための資金援助や専門家派遣などの取り組み」で23.4%（64人）となっています。

問 12 これからの湖南省の良好な景観形成についてご意見がありましたらお書きください。

- ・回答者の 25.9%にあたる 71 人から 86 件の意見がありました。意見の内容を分類し、集計すると、「景観づくりの具体的施策に関するアイデア」が最も多く、28 件ありました。
- ・次いで、「景観づくりの方向性に関する意見」が 18 件、3 番目は、「現状、課題認識に関する意見」で 14 件となっています。

<b>1</b>	<b>現状、課題認識に関する意見</b>	<b>14 件</b>
	湖南省は美しいまちである、など高評価	5 件
	空き店舗、空き地が景観を損ねている場合がある	4 件
	市民の景観に関する意識が低い、意識啓発が必要	3 件
	東海道沿いの近年の住宅開発が街並みを大きく変化させている	1 件
	屋外広告物が景観を損ねている場合がある	1 件
<b>2</b>	<b>景観づくりの方向性に関する意見</b>	<b>18 件</b>
	地域特性に合った景観の形成	5 件
	既存の景観資源の一層の有効活用、積極的な情報発信	4 件
	景観まちづくりの積極的推進	2 件
	次世代が郷土愛を持って住み続けられる景観づくりの推進	2 件
	緑や花が豊かな景観づくり	2 件
	行政による景観形成に関する基本方針、基準の明確化	1 件
	市全体のマスタープランに合わせた景観づくり	1 件
	資源を主体とした点的な景観づくりだけでなく、広がりのある面的な景観づくりを進めるべき	1 件
<b>3</b>	<b>景観づくりの具体的施策に関するアイデア</b>	<b>28 件</b>
	草木の管理、ゴミの投棄等の取り締まり強化、環境美化活動などを徹底する	14 件
	駅周辺における良好な景観づくり	3 件
	自然景観を楽しむ遊歩道の整備	2 件
	住宅地などにおける建築物の高さ規制の導入検討	2 件
	国道1号バイパス周辺等の田園景観、自然景観の保全	2 件
	東海道における散策を楽しむ環境づくり、持続的な維持管理	2 件
	東海道らしい景観の保全、継承	1 件
	空き家となる古民家の活用	1 件
	公共公益施設による良好な景観のモデルづくり	1 件
<b>4</b>	<b>景観づくりへの市民参画に関するアイデア</b>	<b>10 件</b>
	景観形成活動の先進事例などの情報提供、講習会の開催など	4 件
	地域住民が景観づくりに参画しやすい仕組みづくり(自治会等との連携など)	3 件
	良好な景観形成に主体的に取り組む団体、事業者等への支援	2 件
	モデル地域の指定、模範的取り組みの実施	1 件
<b>5</b>	<b>その他</b>	<b>16 件</b>
	景観以外に関する意見等	15 件
	景観づくり活動への参画意向	1 件
	<b>合計</b>	<b>86 件</b>